

佐渡市立河崎小学校 学校だより



No. 12〔3月号〕令和7年3月3日
〒952-3424 佐渡市下久知501番地
Tel.0259(27)7352 Fax.0259(27)7130
E-mail kawasaki-es@sado.ed.jp
HP <http://kawasaki-es.sado.ed.jp>

SDGs と受け継がれるもの

校長 大橋 潤

今年になりインフルエンザの大流行による学年閉鎖や記録的な寒波による大雪など予期せぬ事態もありましたが、保護者や地域の皆様のご支援ご協力により、すぐに落ち着いた日常を取り戻すことができました。ありがとうございました。

2月28日（金）にはPTA総会に先だって、マーチングバンド引継式及び六送会が行われました。現マーチングバンドの演奏後6年生が抜け、指揮杖をはじめとして、それぞれ新しい楽器が引き継がれました。3年生が入り新マーチングバンドでの演奏が立派に行われたときに、この数ヶ月6年生が自分のパートを一生懸命教えていた姿が思い出されました。マーチングバンドの心は、しっかりと受け継がれました。六送会では5年生が工夫しながら企画、準備、運営し、6年生からエンターテイメント性をしっかりと受け継いで盛り上げていました。令和6年度のPTA活動は、児童数の減少に伴い持続可能な活動について見直し、話し合う組織改革の1年でした。必要な規約改正も済み新たな一歩を踏み出すこととなりました。また、PTA総会では、会計監査についての見直しも承認されました。そして、もし新たにPTA活動を行う場合について予算も含めて、計画できるよう道筋を着けました。

さて先日、本の読み聞かせをさせていただいている橋本さんより、今から約20年前に消費者協会が行っていた環境問題についてのお話を聞かせていただきました。当時、河崎地区にお住まいの正治さんが中心となって、買い物をしたときにレジ袋をもらわない活動を行っていたとのことでした。今でこそエコバッグはあたりまえのようになり環境への意識も高まっていますが、その当時、常に手製の袋を持参し環境問題を訴えることは、社会的にも苦労があったのではないかと思います。しかし、地球温暖化など環境の悪化を危惧し、何か行動しなくてはと思い、佐渡から全国に向けて環境問題を発信していくことに使命感があったのではないのでしょうか。今から20年前の活動に頭が下がります。

SDGs にいがたによる第5回「新潟 SDGs アワード」の環境部門優秀賞を、2年間にわたる「SDGs」を軸にした6年生の取組が評価されて受賞しました。6年生は、佐渡の課題を前向きに捉えて魅力ある佐渡を目指し、海のゴミや放置竹林など環境問題について学び、草木染めをした布でエコバッグ、プラスチックごみを加工したアクセサリ、竹ばしやウッドローズ等を作成し販売しました。ただ販売するだけでなく、自分たちの学んだことを発表しながら、未来へ向けて問題提起していることに価値があります。2年間SDGsを通して学んだことは、確実に子どもたちの世界観を広げました。

今年度も残すところ1か月となり、活動のまとめや来年度に向けての計画を立てる時期となりました。これまでの保護者や地域の皆様のご理解とご支援に心から感謝申し上げます。引き続き来たる新年度もどうぞよろしくお願いいたします。